

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）。

宇宙科学研究所天文学および磁気圏物理学分野教員

1. 教授1名および助教授1名（天文学、磁気圏物理学分野から各1名）
2. (1) 宇宙科学企画情報解析センター
(2) 相模原市由野台宇宙科学研究所
3. 4. 宇宙科学研究所の科学衛星計画において、内外の共同研究者と協力しながら、衛星運用の企画・調整、データベースの作成・運用、および解析のための基本ソフトウェアの整備にあたる。天文学あるいは磁気圏物理学の研究者として実績があり、衛星観測による宇宙科学研究をソフト面で支えることに意欲を持つ人材を求める。
5. (1) 決定後なるべく早い時期を希望
7. ○略歴 ○研究歴 ○論文リストおよび主要論文別刷 ○他薦の場合は推薦書2通、自薦の場合は研究計画書および本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 1993年8月23日(月)必着
9. (1) 〒229 相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所庶務課人事係
電話 0427-51-3911 内線 2206
(2) 宇宙科学研究所企画情報解析センター長
中谷一郎
10. 表書に「センター教官応募書類在中」と朱書して下さい。
11. 当研究所は国立大学共同利用機関の一つで、教官人事には国内外研究者との共同研究及びそれに伴う業務に積極的に取り組む方を期待しています。選考は宇宙科学研究所運営協議員会議において行います。応募者に適任がない場合、決定を保留することがあります。

京都大学理学部物理学第二教室教員

1. 助手1名

2. (1) 天体核研究室
3. 天体核物理学
5. (1) 決定後できるだけ早く
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論別刷（5編以内）、研究計画、着任可能時期、他薦の場合：上記書類の他に推薦書
8. 1993年9月16日(木)必着
9. (1) 〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部物理学第二教室
小山勝二 電話 075-753-3833
(2) 佐々木節 電話 075-753-3883
10. 封筒に「天体核助手応募書類在中」と朱記し、書留で送付のこと。

国立天文台電波天文学研究系教員

1. 助手2名
2. (1) 国立天文台・電波天文学研究系／野辺山宇宙電波観測所
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学（宇宙電波）
4. 電波天文学分野では、45m電波望遠鏡とミリ波干渉計を軸とした研究活動、共同利用運用を行うとともに、スペースVLBIやサブミリ波領域の開拓、大型ミリ波アレイ計画などの仕事を進めています。これら宇宙電波分野の研究、共同利用運用、将来計画に積極的に取り組む若い研究者を求めます。なお助手2名のうち1名は特に45m電波望遠鏡関連の研究に貢献できる研究者を希望しています。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程終了、またはそれと同等以上の方
7. ①履歴書、②研究、③論文リストおよび主要論文別刷、④自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 平成5年10月18日(月)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 古在 由秀
(2) 国立天文台 電波天文学研究系
石黒正人 電話：0267-63-4396
Fax：0267-98-2884
10. 封筒の表に「電波天文学応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。
11. 選考は国立天文台運営協議員会において行います。

人事公募結果

国立天文台電波天文学分野助教授

1. 公募掲載：1992年11月号

2. 氏名：中井直正
3. 前所属：国立天文台電波天文学研究系助手
4. 着任時期：1993年4月16日

平成5年度(第10回)井上學術賞候補者募集について

井上科学振興財団より本会あて下記要項で推薦依頼がありました。希望者は天文学会までご連絡下さい(学会締切は9月5日(木))

1. 候補者の対象
自然科学の基礎的研究で業績が特に顕著なもの。ただし、研究者の年齢が平成5年9月21日現在で満50歳未満のものに限る。
2. 学術賞
賞状・メダル及び副賞200万円、5件以内。受賞者は原則として1件について一人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。ただしその場合も1件とする。
3. 学会からの推薦件数は1件です。
4. 贈呈期日は平成6年2月4日(金)の予定。

1993年度朝日賞候補者の推薦について

朝日新聞文化財団より標記の依頼がきております。推薦票は天文学会にあります。自薦他薦を問いませんので天文学会までご連絡下さい。

1. 候補者の対象
わが国のさまざまな分野で業績をあげ、文化・社会の向上に貢献された個人または団体。
2. 天文学会からの推薦は1件です。
3. 天文学会の締切は、1993年8月25日。
4. 発表は、1994年元日の朝日新聞紙上。

総合研究(A)研究会

「擾乱媒質中の波動伝播と補償光学」

開催日時：1993年8月23日(月)午後1時～
25日(水)午後5時

開催場所：東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台講義室

大望遠鏡の空間解像力を飛躍的に高める技術として、「波面補償光学」が近年脚光を浴びています。補償光学の実現には、望遠鏡環境、接地境界層から成層圏までの光路中の地球大気の流れの物理的理解とその影響の測定が

重要となります。また、高速高感度低雑音カメラや、波面測定光学系、波面補償素子の開発と、それらを組み合わせた実用レベルのシステム構築において、高度な技術的挑戦が必要です。

本研究会には、関連する広い分野から研究者をお招きし、補償光学の理論と応用について、多面的に検討する場に行いたいと考えています。セッション内容としては、

1. 大気のゆらぎの物理(ゆらぎの構造、物理過程、気象学からの見地)、
2. 乱れた媒質中の波動の伝播(乱流理論、構造関数、概念の整理)、
3. 波面ゆらぎの測定法(曲率法、シャックハルトマン法、高速カメラ)、
4. 波面補償素子(可変形状鏡、位相共役)、
5. レーザーガイド星(原理、レーザーシステム)、
6. 補償光学システム(光学系、制御系)、
7. 補償光学・能動光学の応用(天文学、レーザー核融合、レーザー加工)を想定しています。参加希望の方は氏名・所属・住所・電話・Fax・電子メール・希望講演題目を至急お知らせ下さい。

世話人：家 正則(国立天文台 Tel:0422-34-3703/
Fax:0422-34-3608)

高見英樹(通信総合研究所 Tel:0423-27-6875)

高遠徳尚(理化学研究所 Tel:048-462-1111-ext 3243)

参加申込書あて先：増山 禎(国立天文台 Fax:0422-34-3608)

電波天文台特別公開のお知らせ

国立天文台 野辺山
電波天文学研究系
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

当観測所では、天文知識の普及と観測所の仕事を広く知って頂くため、下記の要領で観測所の諸設備を一般の方々に公開いたしますので、御案内申し上げます。

1. 日時 1993年9月23日(祝)
午前10時から午後4時半まで
2. 内容
(1)見学 通常の見学コースの他、45m望遠鏡の観測室、10m5素子干渉計の観測室、電波ヘリオグラフの観測室、観測データを処理する計算機室等を見学できます。
(2)展示 宇宙からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや、最近の観測結果を展示します。
(3)講演 小杉健郎「科学衛星ようこうが見た太陽のX線像」
井上 允「21世紀の天文学を拓くVSOP」

(4)その他 質問コーナー等

3. 交通

鉄道 JR 小海線・野辺山駅下車, 徒歩 25 分

車 東京方面から

中央道・須玉インターより国道 141 号線を清里方面に約 40 分

名古屋方面から

中央道・小淵沢インターより八ヶ岳有料道路・国道 141 号線を経て約 40 分

☆なお、観測所内には食堂はありませんので御承知おき下さい。また、恐縮ですが、上履き(スリッパ等)を各自御持参下さい。

問い合わせ先

〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台 野辺山

電話：0267-63-4300 (代表)

(担当) 大石雅寿, 武士俣 健, 山口千栄子

東京大学理学部天文学教育研究センター 木曾観測所特別公開のご案内

日時 1993 年 8 月 7 日 (土) 18 時～18 時半迄

1993 年 8 月 8 日 (日) 10 時～16 時半迄

展示内容 ①シュミット望遠鏡のデモンストラーション。

②天体写真(モノクロ, カラー)の展示。

③スライド上映, 研究活動の紹介。

④質問コーナー 等。

(一般の方を対象にしています)

交通・その他 JR 中央西線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約 25 分 (12 km) 観測所から 6 km のところまではバスが通っていますが(1 日数本), 他には交通の便がありません。食事等の売店はありません。

場所・連絡先 〒397-01 長野県木曾郡三岳村樽沢
東京大学理学部天文学教育研究センター
木曾観測所
電話 0264-52-3360
FAX 0264-52-3361

日本天文学会

1993 年度春季年会記事

1993 年春季年会は, 5 月 11 日(火)から 13 日(木)の 3 日間, 相模原市民会館・相模原市あじさい会館内の 3 会場で併行して行われた。

講演数は口頭発表: 363, ポスター発表: 36, Post-deadline papers: 11 でこの 11 件の殆どは, 超新星 SN1993J に関するものであった。年会参加者は 659 名であった。

今回は, 宇宙科学研究所の伊藤真之理事はじめ職員・元職員の方々の, 積極的な運営によって多岐に亘る行事をとどこおりなく終わらせることができ大変感謝している次第である。その陰には, アルバイト学生諸君のご協力があったことは勿論である。また相模原市のご協力で, 会場費その他の経費を極端に軽減させていただいたことは, 年会以外の学会運営に対しても大きな援助になり, 非常に感謝している次第である。

口頭による研究発表の座長は次の方々をお願いした。(敬称略)

A 会場 (市民会館ホール)

5 月 11 日 午前 常 深 博(A 1～10)

午後 大 橋 隆 哉(A 11～26)

吉 澤 正 則(A 27～45)

12 日 午前 小 林 行 泰(A 46～62)

午後 浮 田 信 治(A 63～78)

13 日 午前 福 島 登 志 夫(A 79～95)

午後 前 田 恵 一(A 96～111)

須 藤 靖(A 112～120)

B 会場 (市民会館第一大会議室)

5 月 11 日 午前 比 田 井 昌 英(B 1～10)

午後 定 金 晃 三(B 11～26)

橋 本 正 章(B 27～45)

5 月 12 日 午前 高 原 文 郎(B 46～61)

午後 牧 島 一 夫(B 62～75)

5 月 13 日 午前 桜 井 隆 (B 76～92)

午後 斉 藤 尚 生(B 93～108)

常 田 佐 久(B 109～124)

C 会場 (あじさい会館ホール)

5 月 11 日 午前 佐 藤 文 男(C 1～10)

午後 福 井 康 雄(C 11～26)

長 谷 川 哲 夫(C 27～44)

5 月 12 日 午前 向 井 正 (C 45～60)

午後 羽 部 朝 男(C 61～75)

5 月 13 日 午前 澤 武 文 (C 76～92)

午後 有 本 信 雄(C 93～108)

野 口 正 史 (C 109～124)

第2日目(5月12日)午後3時30分から休憩時間を含めて約50分間、ポスター発表のディスカッションがそれぞれのボードの前で活発に行われた。また宇宙研・天文台のご好意により各講演会場にビデオ照射装置を設置することができたので、ビデオ発表にも支障がなかった。

◎記者会見

年會開催に先立ち、5月10日(月)午前10時から国立天文台講義室で朝日、毎日、読売、産経、共同通信の各社に対して記者会見が行われた。

話題として次の5つを挙げた。

I) 春季年會講演より

- ①水素分子でみたオリオン大星雲(田中培生)
—近赤外カメラで探る星形成—
- ②気球による遠赤外スペクトル観測(中川貴雄)
—電離炭素線で見た天の川の新しい構造—
- ③新吸収係数による恒星理論の新展開(加藤万里子)
—新星の光度曲線を中心として—

II) 公開講演會

- ④「電波望遠鏡で世界は一つ」(森本雅樹)
- ⑤「X線でみる新しい宇宙像」(井上 一)

◎展示コーナー

賛助会員のために設けられたこのコーナーには今回は、(株)ニュートリノ1社が参加した。

◎「天文教育・普及の直面する問題」フォーラム

年會第1日目(5月11日)午後5時30分より市民會館會議室で上記研究会が行われた。(80名)

◎公開講演會

春季年會閉會の翌5月14日、神奈川県相模原市立あじさい會館において、公開講演會が開催された。今回の講演會は、相模原市との共催で、宇宙科学研究所、相模原市教育委員会、および、銀河連邦サガミハラ共和国の後援をいただいた。講師として、鹿児島大学教授森本雅樹氏と宇宙科学研究所助教授井上 一氏をお招きし、それぞれ「電波望遠鏡で世界は一つ」、「X線でみた新しい宇宙像」の講題で約1時間ずつ、電波天文学、X線天文学の最前線、将来計画などについてわかりやすいお話をいただいた。当日はあいにくの雨で参加者数は少なめであったが、参加者は講演に熱心に聞き入り、多くの質疑応答もかわされた。

◎その他

年會々期中に、評議員會、總會、理事會が開かれた。また会員による自主研究会が、第1日目に9集會、第2日目に4集會の計13集會が、講演発表の間隙を縫って開催された。

◎懇親會

第2日目の總會終了後、会場付近のけやき會館で懇親會が開かれた。宇宙科学研究所長、相模原市長室長の来

賓をお迎えし、約220名の参加者で賑わった。開會に当たって田中理事長より、五島プラネタリウム、(株)エイ・イー・エス、(株)恒星社厚生閣からの寄付、また相模原市からのご好意に対しての謝辞を申し上げた。

總會記事

平成5年度通常總會は、5月12日午後4時30分より相模原市民會館・ホール(会場A)で開催された。会員175名が出席した。

議長：理事長 田中 靖郎

司會進行：庶務理事 唐牛 宏

總會次第

1. 開會
2. 天体発見賞贈呈の件
3. 日本天文学会研究奨励賞贈呈の件
4. 平成4年度会務報告
5. 平成4年度會計報告及び監査報告
6. 平成5年度予算
7. 質疑応答、報告承認
8. 次期理事長・副理事長の承認
9. 次期理事の指名
10. 次期委員委嘱
11. 會計監査委嘱
12. その他
13. 新旧理事長挨拶
14. 閉會

◇天体発見賞贈呈の件

評議員會の議決に基づき、以下の3件3氏に天体発見賞・天体発見功勞賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

1. 大下信夫氏 「Ohshita 彗星-1992 al の発見」
天体発見賞
2. 木内鶴彦氏 「Swift-Tuttle 周期彗星の検出」
天体発見功勞賞
3. 関 勉 氏 「多数の周期彗星の検出」
天体発見功勞賞

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダルが手渡された。

◇日本天文学会研究奨励賞贈呈の件

評議員會の議決に基づき、下記の研究に今年の研究奨励賞を贈呈する件が提案され、満場一致で承認された。

関口真木氏

「汎用 CCD カメラ制御システムとモザイク CCD カメラの開発」

引き続き表彰式が行われ、理事長より表彰状・メダルおよび賞金の目録が手渡された。

◇平成4年度会務報告【付録1】

庶務理事より、平成4年度の会務報告があり原案通り承認された。

◇平成4年度会計報告及び監査報告【付録2】

会計理事より、平成4年度の会計報告があり、これに関して会計監査より監査の結果正常であった旨の報告があり、原案通り承認された。

◇平成5年度予算【付録3】

会計理事より、平成5年度の予算説明があり、原案通り承認された。

◇質疑応答

会務・会計報告に関して種々の質疑がなされたが、特に学会経理の逼迫状態に関する質問・討議に多数の発言があり、経営正常化を目指した具体案を今秋の臨時総会に提出することとなった。

◇次期理事長に内田 豊氏、副理事長に中野武宣・松本敏雄の両氏を推薦し承認された。【付録4】

◇理事長から次期理事・委員および会計監査の指名推薦があり承認された。【付録4】

〔付録1〕平成4年度 会務報告

平成4年度は、本会創立85年度、社団法人設立後59年にあたる。

本年度に行った事業

イ) 出版

1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第44巻2号 77-166頁 L. 15- 22
平成4年 5月25日

第44巻3号 167-334頁 L. 23- 38
平成4年 7月25日

第44巻4号 335-480頁 平成4年 8月25日

第44巻5号 481-560頁 L. 39-230
平成4年11月25日

第44巻6号 561-738頁 L. 231-262
平成5年 2月25日

第45巻1号 1-136頁 L. 1- 6
平成5年 3月25日

2) 天文月報

第85巻4号から第86巻3号まで毎月発行

ロ) 年 会

1) 春季年会

ア) 記者会見：5月12日(火) 大阪学院大学
報道機関：7社

イ) 年会

平成4年5月13~15日(水~金) 大阪学院大学
口頭講演：398, ポスター発表：29, Post-deadline papers: 3.

年会参加者：585名

ウ) 年会期間中のその他の催し

◇展示コーナー：会場ロビー, 参加：3社

◇「新しい天文教具」展示会とフォーラム：
会場内ロビー, (天文教育普及研究会・共催)
参加者：40~50名

◇懇親会：学内11号館, 参加者：240名

◇公開講演会5月15日18時

大阪市中央公会堂

太陽観測衛星「ようこう」

(宇宙研・小川原嘉明)

「ようこう」軟X線のみた太陽

(東大理・常田佐久)

参加者：180名

エ) その他

研究集会：12

2) 秋季年会

ア) 記者会見：10月12日(月) 名古屋大学

豊田講堂 特別会議室

報道機関：6社

イ) 年会

平成4年10月13~15日(火~木) 名古屋大学

豊田講堂・シンポジオン

口頭講演：351, ポスター発表：36, Post-deadline papers: 1.

年会参加者：497名

ウ) 年会期間中のその他の催し

◇特別セッション「天文学長期計画」：名古屋大学
シンポジオン

◇天文教育普及研究会と共催でフォーラム「天文学を学べる大学」を開催

◇展示コーナー：会場ロビー, 参加：1社

◇懇親会：豊田講堂ロビー, 参加者：220名

◇公開講演会：10月13日18時,

名古屋市科学館・サイエンスホール

電波でみる分子雲と原始星(名大理・福井康雄)
光と赤外線でみる星の生成と進化

(国立天文台・佐藤修二)

エ) その他

研究集会：11

総会および評議員会, 理事会

ア) 定期総会

平成4年5月14日16時30分~17時30分

大阪学院大学 演習室

議長：理事長 田中靖郎

議会次第

1. 天体発見賞贈呈

2. 研究奨励賞
3. 平成3年度会務報告
4. 平成3年度会計報告及び監査報告
5. 平成4年度予算
6. 次期評議員(任期:1992年~1996年)の決定
7. その他:早川基金(仮称)の創設について

イ) 評議員会

平成4年4月18日 国立科学博物館 会議室

議長:内田豊

- 議題: 1. 早川基金について
 2. 議会提出議案について
 3. 顕彰制度について
 4. その他:1997年のIAU総会について

平成4年5月14日 12時~13時 大阪学院大学
 地下2階会議室

議長:小平桂一

- 議題: 1. 総会議題の確認について
 2. 早川基金の創設について
 3. その他

平成4年10月14日 12時~13時 名古屋大学
 豊田講堂 第2会議室

議長:藤本光昭

- 議題: 1. 早川基金運用実施について
 2. 評議員選挙結果の訂正について
 3. その他:天文月報及びPASJのキャンペーン

ウ) 理事会

平成4年4月11日 13時~17時

国立科学博物館 会議室

平成4年5月15日 12時~13時30分

大阪学院大学 地下2階会議室

平成4年8月29日 13時30分~16時

国立科学博物館 会議室

平成4年10月15日 12時15分~13時

名古屋大学 豊田講堂 会議室

平成5年3月27日 13時30分~16時30分

国立天文台講義室

その他の主な事項

- ア) 天体発見賞を串田麗樹, 佐々木俊司, 田中善一の3氏に, 天体発見功労賞を石川正夫氏に授与した。(5月)
- イ) 第4回日本天文学会研究奨励賞を嶺重 慎氏に授与した。(5月)
- ウ) 日本学術会議天文学研究連絡委員会と合同で, invitationをIAU総会へ出した。(5月)
- エ) 年会講演からトピックスを選び, 公開講演の内容と

- ともに報道機関に資料を提供した。(5月, 10月)
- オ) 平成4年度学術交流費によって141名に対して旅費補助を行った。(5月, 10月)
- カ) 平成5年度科学研究費配分審査委員第一段の選挙を行い, その結果を日本学術会議に推薦した。なお今年度は第二段についても, 新制度発足のための再登録を行い推薦をした。(6月)
- キ) 国際会議, 国内会議およびシンポジウムの協賛・後援, 国立天文台公開の後援を行った。(平成4年4月~平成5年3月)
- ク) 文部省から平成4年度研究成果刊行補助金として349万円の交付決定通知があった。(8月)
- ケ) 井上科学振興財団より, 本会推薦の横山順一氏が平成4年度助成金を受けた。(8月)
- コ) 内地留学奨励金を大塚勝二, 西村昌能両氏に支給した。(10月)
- サ) 早川基金による若手研究者の海外研修旅費支給についての内規を制定し(10月), 公募を行って選考した結果, 3名に第1回目の援助を行った。(1月)
- シ) 本会推薦の斉藤修二氏が平成4年度東レ科学技術賞を受賞した。(2月)

会員数

	特別会員	通常会員	賛助会員	合計
1992年3月31日	883	1,575	55	2,513
入会	62	126	0	188
退会	16	55	3	74
移籍(増)	18	15	0	33
移籍(減)	15	18	0	33
1993年3月31日	932	1,643	52	2,627

【付録2】 平成4年度 収支計算書

社団法人 日本天文学会

(平成4年4月1日～平成5年3月31日)

【一般会計】

1. 収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
大・中・小科目		
基本財産運用収入	300,000	286,000
基本財産利息収入	300,000	286,000
会費収入	23,330,000	23,763,000
特別会員会費収入	13,730,000	13,980,900
一般会費収入	11,730,000	11,916,400
学生会費収入	2,000,000	2,064,500
通常会員会費収入	9,600,000	9,782,100
事業費収入	17,800,000	20,829,305
欧文研究報告発行事業収入	9,800,000	12,694,752
購読料	5,000,000	4,155,992
掲載料	3,600,000	5,195,450
別刷代	1,200,000	3,343,310
天文月報発行事業収入	5,050,000	5,263,573
購読料	950,000	1,000,687
別刷代	700,000	556,170
広告料	3,400,000	3,706,716
年会事業収入	2,950,000	2,870,980
予稿集頒布収入	450,000	528,783
参加費	2,000,000	1,910,000
雑収入	500,000	432,197
印税収入	1,300,000	1,576,000
星座早見印税収入	1,200,000	1,576,000
星図星表めぐり印税収入	100,000	0
補助金収入	3,500,000	3,490,000
文部省刊行補助金収入	3,500,000	3,490,000
雑収入	2,360,000	2,114,281
受取利息	60,000	44,700
特別企画収入	1,350,000	1,197,757
その他の収入	950,000	871,824
繰入金収入	0	3,549,188
研究奨励賞会計より借入れ	0	3,000,000
平成元年度分消費税繰入	0	549,188
当期収入合計(A)	48,590,000	55,607,774
前期繰越収支差額	5,316,680	5,316,680
収入合計(B)	53,906,680	60,924,454

2. 支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
大・中・小科目		
事業費	38,180,000	45,462,430
欧文研究報告発行事業費	16,050,000	22,087,202
直接出版費	11,100,000	13,366,899
別刷印刷費	720,000	2,145,377
刷件費	980,000	1,010,878
謝礼金	600,000	1,459,237
委託託送料	1,600,000	2,613,973
運搬費	900,000	1,326,038
消耗品費	100,000	158,000
雑費	50,000	6,800
天文月報発行事業費	16,330,000	17,229,469
直接出版費	11,500,000	12,085,100
別刷印刷費	450,000	516,400
刷件費	980,000	1,010,771
謝礼金	1,050,000	1,228,153
委託託送料	1,800,000	1,998,590
運搬費	500,000	377,580
消耗品費	50,000	12,875
雑費	50,000	12,875
年会事業費	5,800,000	6,145,759
予稿集印刷費	3,000,000	3,408,060
謝礼金	600,000	480,920
送料	550,000	658,290
運搬費	150,000	175,320
会場費	800,000	1,019,759
消耗品費	700,000	403,410
雑費	700,000	403,410
管理費	11,950,000	12,798,176
人件費	4,800,000	5,020,207
謝礼金	100,000	110,800
会議費	450,000	427,510
負担金	100,000	112,000
租税公課	950,000	1,156,003
旅費	1,000,000	1,179,560
送料	550,000	1,050,081
通信費	50,000	465,900
什器備品費	800,000	631,597
消耗品費	1,250,000	981,000
印刷製本費	80,000	86,634
光熱水料費	950,000	1,042,840
賃借料	70,000	81,270
保険料	150,000	136,107
諸手数料	100,000	183,167
書籍購入費	50,000	15,400
特別企画費	500,000	118,100
雑費	500,000	118,100
特定預金支出	460,000	167,800
退職給与引当預金支出	160,000	167,800
減価償却引当預金支出	300,000	0
予備費	3,316,680	0
予備費	3,316,680	0
当期支出合計(C)	53,906,680	58,428,406
当期収支差額(D)=(A)-(C)	△5,316,680	△2,820,632
次期繰越収支差額(E)=(B)-(C)	0	2,496,048

【特別会計】

(単位：円)

会計種目	科目	予算額	決算額
学術交流費	収入の部		
	賛助会員会費収入	2,100,000	2,010,000
	受取利息	16,000	16,000
	前期繰越収支差額	1,005,737	1,005,737
	収入合計	3,121,737	3,031,737
	支出の部		
	学術交流費	2,350,000	2,354,300
	予備費	10,000	8,284
	支出合計	2,360,000	2,362,584
	次期繰越収支差額	761,737	669,153
正味財産		669,153	
内地留学奨学金	収入の部		
	基本財産利息収入	210,000	244,455
	前期繰越収支差額	254,730	245,730
	収入合計	464,730	499,185
	支出の部		
	奨学金支出	240,000	260,000
	雑費	20,000	1,957
	支出合計	260,000	261,957
次期繰越収支差額	204,730	237,228	
正味財産		237,228	

研究奨励賞	収入の部		
	奨励賞資金収入	1,300,000	1,425,500
	受取利息	140,000	251,869
	前期繰越収支差額	3,170,605	3,170,605
	収入合計	4,610,605	4,847,974
	支出の部		
	奨励賞支出	100,000	100,000
	雑費	10,000	4,332
	繰入金支出	0	3,000,000
	支出合計	110,000	3,104,332
次期繰越収支差額	4,500,605	1,743,642	
正味財産		1,743,642	
早川幸男基金	収入の部		
	寄付金収入	7,700,000	9,200,000
	受取利息	0	161,117
	前期繰越収支差額	0	0
	収入合計	7,700,000	9,361,117
	支出の部		
	研究補助支出	1,000,000	350,000
	雑費	0	2,163
	支出合計	1,000,000	352,163
	次期繰越収支差額	6,700,000	9,008,954
正味財産		9,008,954	

社団法人 日本天文学会

平成4年度 一般会計正味財産増減計算書

(平成4年4月1日～平成5年3月31日)

(単位：円)

勘定科目	決算額
大科目・中科目	
増加の部	
資産増加額	
退職引当預金増加額	210,783
減価償却引当預金増加額	35,475
什器備品増加額	243,600
増加額合計 (F)	489,858

減少の部	
資産減少額	
什器備品償却額	196,260
貯蔵品減少額	862,041
当期収支差額	2,820,632
負債増加額	
退職給与引当金繰入額	210,783
減少額合計 (G)	4,089,716
当期正味財産減少額 (H = G - F)	3,599,858
前期正味財産	I
前期正味財産	15,268,221
期末正味財産 合計 (J = I - H)	11,668,363

社団法人 日本天文学会

貸借対照表

平成4年度(平成5年3月31日)

【一般会計】

(単位:円)

資 産 の 部			負債及び正味財産の部		
勘 定 科 目	金 額		勘 定 科 目	金 額	
大科目・中科目			大科目・中科目		
流動資産			流動負債		
現金預金	1,484,326		未払金	1,458,066	
未収会費	1,201,840		預り金	1,654,229	
未収金	3,633,374		前受金	112,800	
有価証券	600,000		前受会費	1,198,397	
流動資産合計		6,919,540	流動負債合計		4,423,492
固定資産			固定負債		
投資有価証券	5,000,000		退職給与引当金	1,082,442	1,082,442
その他の固定資産			負債合計		5,505,934
什器備品	1,346,633		正味財産	11,668,363	
貯蔵品	2,067,439		(うち、基本金)	(5,000,000)	
退職給与引当預金	1,082,442		(うち、当期減少額)	(3,599,858)	
減価償却引当預金	758,243		正味財産合計		11,668,363
固定資産合計		10,254,757	負債及び正味財産合計		17,174,297
資産合計		17,174,297			

【特別会計】

(単位:円)

学 術 交 流 費					
流動資産			正味財産		
現金預金	669,153		次期繰越収支差額	669,153	
			(うち当期増加額)	(336,584)	
資産合計		669,153	正味財産合計		669,153
			負債及び正味財産合計		669,153

内 地 留 学 奨 学 金					
流動資産			正味財産		
現金預金	237,228		基本金	4,310,000	
その他の固定資産			次期繰越収支差額	237,228	
投資有価証券	4,310,000		(うち当期減少額)	(17,502)	
資産合計		4,547,228	正味財産合計		4,547,228
			負債及び正味財産合計		4,547,228

研 究 奨 励 賞					
流動資産			正味財産		
現金預金	1,743,642		次期繰越収支差額	1,743,642	
			(うち当期増加額)	(1,426,963)	
資産合計		1,743,642	正味財産合計		1,743,642
			負債及び正味財産合計		1,743,642

早 川 幸 男 基 金					
流動資産			正味財産		
現金預金	1,508,954		次期繰越収支差額	9,008,954	
投資有価証券	7,500,000		正味財産合計		9,008,954
資産合計		9,008,954	負債及び正味財産合計		9,008,954

(注) 基本財産(基本金)たる資産:投資有価証券 9,310,000円

預り金のうち消費税 1,568,339円 (うち当期消費税 470,033円)

監査の結果、収支計算書及び貸借対照表の正しいことを証明いたします。

平成4年4月12日 会計監査 田原博人 中野武宣

【付録3】平成5年度収支予算書

平成5年4月1日～平成6年3月31日

【一般会計】

1] 収入の部

単位：円

勘定科目 大・中・小科目	予算額	前年度 予算額
基本財産運用収入	300,000	300,000
基本財産利息収入	300,000	300,000
会費収入	23,800,000	23,330,000
特別会員会費収入	14,000,000	13,730,000
一般会費収入	12,000,000	11,730,000
学生会費収入	2,000,000	2,000,000
通常会員会費収入	9,800,000	9,600,000
事業収入	17,530,000	17,800,000
欧文研究報告発行事業収入	9,200,000	9,800,000
購読料	5,000,000	5,000,000
掲載料	3,300,000	3,600,000
別刷代	900,000	1,200,000
天文月報発行事業収入	5,200,000	5,050,000
購読料	900,000	950,000
別刷代	600,000	700,000
広告料	3,700,000	3,400,000
年会事業収入	3,130,000	2,950,000
予稿集頒布収入	530,000	450,000
参加費	2,000,000	2,000,000
雑収入	600,000	500,000
印税収入	1,600,000	1,300,000
星座早見印税収入	1,500,000	1,200,000
その他の印税収入	100,000	100,000
補助金収入	3,500,000	3,500,000
文部省刊行補助金収入	3,500,000	3,500,000
寄付金収入	1,000,000	0
寄付金収入	1,000,000	0
雑収入	1,140,000	2,360,000
受取利息	40,000	60,000
特別企画収入	550,000	1,350,000
その他の収入	550,000	950,000
繰入金収入	646,228	0
繰入金収入	646,228	0
当期収入合計 (A)	49,516,228	48,590,000
前期繰越収支差額	2,496,048	5,316,680
収入合計 (B)	52,012,276	53,906,680

II] 支出の部

(単位：円)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	前年度 予算額
事業費	37,930,000	38,180,000
欧文研究報告発行事業費	17,200,000	16,050,000
直接出版費	10,800,000	11,100,000
別刷印刷費	720,000	720,000
人謝件費	980,000	980,000
委託託金	1,100,000	600,000
送送料運搬費	2,300,000	1,600,000
消耗品費	1,000,000	900,000
雑費	200,000	100,000
天文月報発行事業費	15,230,000	16,330,000
直接出版費	10,600,000	11,500,000
別刷印刷費	400,000	450,000
人謝件費	980,000	980,000
委託託金	1,100,000	1,050,000
送送料運搬費	1,700,000	1,800,000
消耗品費	400,000	500,000
雑費	50,000	50,000
年会事業費	5,500,000	5,800,000
予稿集印刷費	3,000,000	3,000,000
送送料運搬費	500,000	600,000
会場費	600,000	550,000
消耗品費	500,000	150,000
雑費	400,000	800,000
雑費	500,000	700,000
管理費	11,140,000	11,950,000
人件費	5,000,000	4,800,000
謝金	300,000	100,000
会議費	450,000	450,000
負担金	120,000	100,000
租税公課	950,000	950,000
旅費交通費	1,200,000	1,000,000
送料通信費	600,000	550,000
什器備品費	150,000	50,000
消耗品費	700,000	800,000
印刷製本料	10,000	1,250,000
光熱水料	80,000	80,000
賃借料	1,010,000	950,000
保険料	90,000	70,000
諸手数料	150,000	150,000
書籍購入費	180,000	100,000
特別企画費	0	50,000
雑費	150,000	500,000
特定預金支出	170,000	460,000
退職給与	170,000	160,000
引当預金支出	0	300,000
引当預金支出	0	0
予備費	2,772,276	3,316,680
予備費	2,772,276	3,316,680
当期支出合計 (C)	52,012,276	53,906,680
当期収支差額 (A)-(C)	△2,496,048	△5,316,680

次期繰越収支差額 (B) — (C)	0	0
-----------------------	---	---

【特別会計】 (単位：円)

会計種目	科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額
学術交流費	収入の部		
	賛助会員会費収入	1,950,000	2,100,000
	受 取 利 息	16,000	16,000
	前期繰越収支差額	669,153	1,005,737
	収入合計	2,635,153	3,121,737
	支出の部		
	学 術 交 流 費	2,550,000	2,350,000
	予 備 費	9,000	10,000
	支出合計	2,559,000	2,360,000
	次期繰越収支差額	76,153	761,737
内地留学奨学金	収入の部		
	基本財産利息収入	200,000	210,000
	前期繰越収支差額	237,228	254,730
	収入合計	437,228	464,730
	支出の部		
	奨 学 金 支 出	240,000	240,000
	予 備 費	10,000	20,000
支出合計	250,000	260,000	
次期繰越収支差額	187,228	204,730	
研究奨励賞	収入の部		
	奨励賞資金収入	200,000	1,300,000
	受 取 利 息	50,000	140,000
	前期繰越収支差額	1,743,642	3,170,605
	収入合計	1,993,642	4,610,605
	支出の部		
	研究奨励賞支出	100,000	100,000
予 備 費	10,000	10,000	
支出合計	110,000	110,000	
次期繰越収支差額	1,883,642	4,500,605	
早川幸男基金	収入の部		
	寄付金収入	500,000	7,700,000
	受 取 利 息	50,000	
	前期繰越収支差額	9,008,954	0
	収入合計	9,558,954	7,700,000
	支出の部		
	研究補助支出	1,000,000	1,000,000
予 備 費	10,000		
支出合計	1,010,000	1,000,000	
次期繰越収支差額	8,548,954	6,700,000	

(付録4) 日本天文学会役員構成 (1993年5月～1995年5月)

理 事(法定理事(○)15名以内, 支部理事 20名以内)

理事長 ○内田 豊

副理事長 ○中野武直, ○松本敏雄

庶務理事 ○渡邊鉄哉, ○唐牛 宏

会計理事 ○戎崎俊一, ○井上 允

欧文研究報告編集理事 ○木下 宙(編集長), ○有本信雄, 家 正則, 大橋隆哉, 桜井 隆, 祖父江義明

天文月報編集理事 ○谷川清隆(編集長), 林左絵子, ○半田利弘, 中村 士, 板尾太郎, 中川貴雄, 濱部 勝

支部関係理事

北海道 ○羽部朝男

東北 石附澄夫, 亀谷 収

関東 福島登志夫, 西城恵一,
○泉浦秀行, 尾中 敬,
小杉健郎

中部 水野 亮, 沢 武文

関西 ○常深 博, 太田耕司,
長田哲也

中国・四国 田辺健茲

九州 ○面高俊宏

委員会及び会計監査

欧文研究報告編集委員(定員10名)

内田 豊, 尾崎洋二, 加藤正二, 古在由秀, 小平桂一, 坂下志郎, 佐藤文隆, 杉本大一郎, 田中靖郎, 藤本光昭

内地留学奨学金選考委員(6名以内)

綾仁一哉, 洞口敏博, 桜井 隆, 市川 隆, 吉岡一男, 神田 泰

評議員選挙管理委員(委員長1, 委員4)

観山正見(委員長), 市川伸一, 片坐宏一, 佐々木敏由紀, 田村元秀

天体発見賞選考委員(若干名)

香西洋樹, 古在由秀, 石田蕙一, 磯部瑠三, 西城恵一

研究奨励賞選考委員(定員5名)

小山勝二, 池内 了, 木下 宙, 福井康雄, 岡村定矩

早川幸男基金選考委員(5名)

谷口義明, 長谷川哲夫, 福井康雄(以上評議員), 大橋隆哉, 福島登志夫

会計監査

田中 済, 小倉勝男

秋季年会の開催と講演の申込について

秋季年会は、鹿児島大学構内(〒890 鹿児島市郡元1丁目)において**10月13日(水)から10月15日(金)**の3日間開催の予定です。講演発表は3会場同時に行われます。秋季年会のプログラムは9月20日発行の天文月報10月号に掲載されます。

講演申込みは「〒181 東京都三鷹市大沢2-21-2 国立天文台内 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上**8月19日(木)**までに必着するよう、本誌にはさみ込まれている規定の申込用紙を用いてお送り下さい。**従来の用紙では受け付けません。**

ポスターセッションを設けます。このポスターセッションについてはディスカッションの時間を設ける予定です。

又、post-deadline papers も受付けます。勿論これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularer に掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、年会前(10月9日)まで受付けたいと思います(FAXでもよい)。

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される会員は、支部理事を通じて、8月19日(木)までに必着するよう「国立天文台内 日本天文学会 理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、**7月末日までに1993年度会費納入済みの人**で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人(大学院生など)に限ります。

◇講演申込み・発表に関しては、特に次の事項を厳守し

て下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 連名の場合スピーカーを発表者の筆頭に書くこと。
3. 講演筆頭者はポスター発表を含め1人1回に限る。
4. ビラは使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターを使用すること。
5. ビデオプロジェクターの使用を希望される方は年会申込期限までに連絡してください。その後の申し込みには対応できないこともあります。

◇旅館については各自で直接申し込んで下さい。

◇年会中に集会等のため、会議室の利用を希望される方は、前もって、支部理事(面高俊宏 0992-54-7141(5791))までご連絡下さい。可能な限り手配したいと思います。**内地留学奨励金の希望者を募集します。**

応募される会員は、下記要項をご参照の上お申し込み下さい。

留学期間：1993年11月から約1年間の中の希望期間。

申し込み：所定用紙に必要事項を記入し、「〒181 三鷹市大沢2-21-2 国立天文台内 日本天文学会理事長」宛に申し込んで下さい。(用紙は日本天文学会事務局に用意してあります)

申し込み締切：1993年9月20日

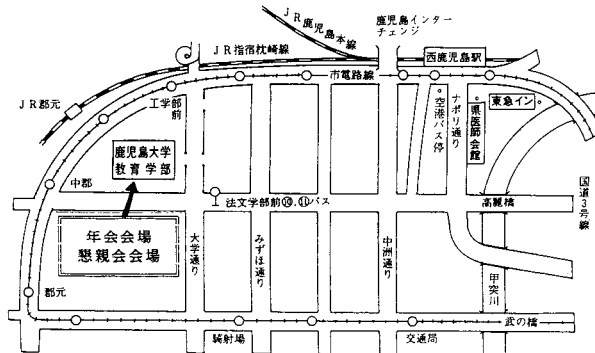
審査：当学会選考委員会(内規第5条)で審査の上決定し、10月下旬本人に通知します。

支給額：25万円以下で、支給予定は11月～12月とします。

人数：原則として1人。新人を歓迎します。

(庶務理事 渡邊鉄哉)

会場案内図



- 西鹿児島駅から
- ・市営バス鴨池港(運行系統10)または三和町(運行系統11)「法文学部前」下車徒歩3分(160円)
 - ・市電郡元方面行「工学部前」下車徒歩3分(160円)
 - ・JR指宿枕崎線「郡元駅」下車徒歩10分(140円)

宿泊・航空券・エクスカーション

秋季年会の宿泊・航空券については、鹿児島大学生協でお世話いたしますのでそれぞれご連絡下さい。

1) 宿泊は朝食付税込みの金額で、西鹿児島駅・天文館周辺の会場に近いところです。

鹿児島東急イン	S	8800
	T	7900
タイセイアネックス	S	6000
	T	5200
ホテルニューかごしま	S	6100
	T	5000
鹿児島ワシントン	S	9600
	T	9200
鹿児島東急ホテル	S	10000
	T	9000
林田ホテル	S	10100
	T	8500
サンロイヤルホテル	S	10500
	T	9400
法華クラブ鹿児島	S	6300
(朝食なし)		5500
〃(アウトパス)	S, T, 共	4400
(朝食なし)		3600
西鹿児島第一ホテル	S	6800
	T	5700
シルクイン鹿児島	S	5700
(朝食なし)		4980
	T	4595
(朝食なし)		3880

《S=シングル T=ツイン》

[公共施設]

公共施設は、ご利用者が直接予約して下さい。

和室で4～5人だと安くなります。

(連) K K R 鹿児島敬天閣
0992-25-2505
5100円～ 84室

(警) 錦江会館
0992-53-7366
朝食なし4645円～32室

(J R) さつま荘
0992-53-6770
4954円～ 52室

2) 航空便について

詳細の事項、申込用紙などは別途支部宛送付させていただきますが、25～40%引きを設定しています。

往

No	日/月	出発	到着	料金
T1	10/12	東京/14:35	鹿児島/16:25	18,000
T2	10/12	東京/08:10	10:00	19,000
T3	10/13	東京/09:30	11:20	20,000
T4	10/14	東京/08:10	10:00	19,000
N1	10/13	名古屋/08:00	09:25	16,000
O1	10/12	大阪/15:30	16:40	12,000
O2	10/13	大阪/10:25	11:40	13,000
O3	10/14	大阪/10:25	11:40	13,000

復

No	日/月	出発	到着	料金
T11	10/15	鹿児島/18:30	東京/20:00	18,000
T12	10/16	18:30	東京/20:00	19,000
T13	10/17	11:00	東京/12:30	18,000
T14	10/17	18:30	東京/20:00	19,000
N11	10/15	19:00	名古屋/20:15	16,000
O11	10/15	17:30	大阪/18:40	12,000
O12	10/16	18:15	大阪/19:25	13,000
O13	10/17	17:30	大阪/18:40	13,000

3) エクスカーションについて

1. 鹿児島宇宙科学研究所 (宇宙開発事業団, 種子島) 見学ツアー

鹿児島を早朝 07:30 分の高速船トッピーで出発し夕方の便で帰還する日帰りツアーです。

集合 07:00 鹿児島着 19:05

[費用] 7,500円 (予定) ……実費は、16,000円ほどかかります。

[募集人員] 先着 50名様

2. 6m電波望遠鏡視察 (鹿児島市錦江湾公園)

日程は、学会のスケジュールなどと調整中です。

[費用] 無料……もちろん送迎及び案内が付きま

4. その他観光・レンタカーなどについても手配いたします。(20～40%引き)

○お申込み・お問合せは、

鹿大生協文化事業部 (担当 池田, 有村, 弓削)

〒890 鹿児島市郡元 1-21-24

TEL 0992-57-6708

FAX 0992-58-9314